

平成 2 6 年度

消防ポンプ自動車

(C D I 型 : 水槽付)

(余目分署配置)

仕 様 書

酒田地区広域行政組合

第1 総則

1 目的

この仕様書は、平成26年度において酒田地区広域行政組合消防本部（以下「本部」という。）が災害消防ポンプ自動車として購入する小型水槽付消防ポンプ自動車（CD-I型）（以下「ポンプ車」という。）の仕様について定める。

2 適合法令

本ポンプ車は、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和60年10月15日自治省令第24号）、道路交通法（昭和35年6月25日法律第105号）、道路運送車両法（昭和26年6月1日法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年7月28日運輸省令第67号）並びに自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（平成4年6月3日法律第70号）等に適合し、かつ、緊急自動車としての承認が得られるものとする。

3 艤装については、日本消防検定協会の定める「消防車両の安全基準について」の項目を満たすものとする。

4 完成車の納入は、自動車及び艤装各般並びに付属品等の諸検査に合格し、新規登録後納入するものとする。なお、ポンプ車は消火作業等の消防活動に使用することを目的とするもので、艤装及び設計に起因する故障等不具合が生じた場合は受注者が責任を負い、また、仕様内容に疑義が生じた場合は本部と発注者が協議の上決定するものとする。

5 ポンプ車、付属品及び装備品は無線機、AVMを、除き全て新規製品のものであり各部構造装置は堅牢で耐久性に富み、安全で消火活動等の酷使に十分耐えるものとする。また、仕様書内の物品、装備品及び付属品で製作所、製品型式等が明記されているものについては、同等以上と本部が認める場合は、変更を認めるものとする。

6 受注者は製作に当たり、取付装置等の変更を要する場合及び艤装上疑義を生じた場合は、本部の承認を得て工程を進めるものとする。

7 受注者は契約締結後、ポンプ車の製作に先立ち、次の書類を本部に契約後60日以内にA4ファイル綴にして提出し、承認を得るものとする。

- (1) 製作工程表 3部
- (2) 製作承認図一式 3部（次の内容で製本すること。）

- ア 艀装5面図（前後、両側面及び上方の5図面、器具収納部分の概略記入）
- イ 諸元表（車両関係、動力伝達装置関係図（P T O）、装備品等。）
- ウ キャブ組立及びキャブ艀装図
- エ 改造自動車重量計算書
- オ 骨組み全体図（シャシー含む。）
- カ シャシーの写真（前後、両側及びキャビン内、データ含む。）
- キ 電気系統図及び配管図面
- ク その他参考となる図書

8 検査

検査は、中間検査及び納入時の完成検査とする。

（1） 中間検査

中間検査は原則として書類審査とし、本部が必要と認めたときは現地調査を実施する。書類審査は、消防本部庁舎内において実施し、提出された資料（製作工程中の写真等）をもとに受注者は検査予定20日前までに検査申請書を、消防長が指名した本部職員に提出すること。

検査の結果不合格と認められた場合は、直ちに補修、交換、修理等を行い本部に報告するものとする。

（2） 完成検査

ポンプ車は、道路運送車両法に基づく新規登録の完了した後に、受注者立会いの上、艀装の完成状況について、当本部の消防長が指名した、本部職員が次の検査を行うものとし、検査による不備指摘事項は、完成整備ののち、再検査を受けなければならない。

- ア 一般艀装検査
- イ ポンプ車への取り付け状態及び取付品、付属品の検査
- ウ 通信機器等の検査

9 購入台数、納期及び納入場所は、次に掲げるとおりとする。

- （1） 購入台数 1 台
- （2） 納 期 平成27年3月27日まで
- （3） 納期場所 庄内町余目字町111-1
酒田地区広域行政組合消防署余目分署

10 納入時、次の書類を提出するものとする。

（1） 完成図書3部

（製作承認図に準じたものとし、次の内容を追加し製本すること。）

- ア 車両重量実測書

イ 改造自動車等審査届出書（写）

ウ 検査試験結果表及び日本消防検定協会の受託試験証票（写）

エ 使用材料表(装備品含む)使用ヒューズ、電球形式一覧表及びパーツリスト

オ 自動車検査証（写）

(2) 写真

新規登録後の、前後、両側面及び上部前後の写真、カラーサービス判6枚1組のものを2組提出するものとする（データ含む。）。

(3) 取扱説明書

車体、シャシー及びその他の取付装備品等の取扱説明書2部

11 契約及び保証については、次のとおりとする。

(1) ポンプ車の車両及び資機材の保証期間は、各メーカーの公表した期間とする。

ただし、メーカーの保証期間がないものについては、1年間の保証期間とする。
なお、保証期間が経過した場合でも、設計不良、工作不良、材質不良に起因する不具合が生じた場合は、無償で修理交換すること。

(2) ポンプ車の新規登録に要する費用については契約金額に含む（自賠責保険料、重量税、リサイクル料は本部が別途支払うものとし、納車前に支払いの必要がある場合は、受注者が一時的に立て替えて支払うものとする。）。その他、1か月又は1,000km点検時の給油脂類（エンジン、ミッション、デフ、エレメント類及びその他の部品）は無料とする。

(3) ポンプ車の保証は納入後24か月とする。ただしシャシーメーカーがこれ以上の保証期間を公表している場合は、その期間とする。また、この期間内において不可抗力、又は取り扱い不注意による以外に支障が生じた場合は、本部の指示により受注者において無償修理その他の保証を行い、塗装部分に剥離、変色等の異常が生じた場合は再塗装するものとする。また、保証期間後であっても設計、資材及び製作上の不備による故障等一切は受注者の負担とし、速やかに修復するものとする。

(4) 受注者は、完成車納入の際に、消防職員にポンプ車の構造、取り扱い、保守管理等の実技指導を2日間行うものとする。

12 廃車について

更新の対象となる現消防ポンプ自動車（庄内88さ38-85）は、受注者が速やかに完全抹消登録手続きを行い、車両を廃棄するものとする。廃棄した旨の抹消膳本と車両の廃棄した経緯の写真を添付して当本部に提出、報告するものとする。また、抹消登録手続き費用と使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）に関する費用は契約金額に含み、納車前に支払いの必要がある場合は、受注者が一時的に立て替えて支払うものとする。

第2 車両は、次のとおりとする。

1 シャシー形式は、次のとおりとする。

- (1) 平成26年製小型水槽付消防ポンプ自動車専用とし、日本消防検定協会の評価に合格した最新型のダブルキャブオーバー・ダブルシート型4ドア4WD、AT又はセミAT（国産メーカーに同仕様が無い場合は、MTを可とする。）、2トン級ベース以上の車両で消防専用シャシーとし、低床型のものとする。また、ホイールベース2,000mm以上2,800mm以下で仕様に定める艤装を行える最短のものとする。
- (2) 乗車定員は5名とし、時計を設けるものとする。また、乗車人員の乗降時及び、走行時において安全な座席、握り棒及び手すりを設けるものとする。
- (3) キャブは堅牢な鋼板製の天蓋及びドアを有すること。なお、ドアすべてに施錠装置（運転席で操作できる電磁式集中ドアロック装置）を取付けること。
- (4) 空調は、冷暖房エアコン（オートエアコン）を装備するものとする。また、リヤ座席用スイッチ付吹き出し口を取り付けるものとする。
- (5) 車両及びバッテリーは、寒冷地仕様とする。
- (6) アンチロックブレーキシステム（ABS）を装備する。
- (7) シートはビニール張りとし、さらにビニール製のシートカバーを取り付けるものとする。
- (8) パワーステアリングを装備する。
- (9) 形式水冷4サイクルディーゼルエンジンとする。
- (10) 検定出力110キロワット（150馬力）以上。
- (11) 助手席側電動格納式電動リモコン熱線入りミラーを装備する。
- (12) 運転席、助手席にはエアバックを装備する。
- (13) 坂道発進補助装置を装備すること。

2 エンジン油温計、エンジン回転計、アワーメーター、オイルパンヒーター（サーモスタットスイッチ付）その他車両の運行及び保持に必要な計器類を装備するものとする。

3 車両両側の路肩灯（スモール連動、LED保護枠付）及び後退灯（警報ブザー付）を前後車輪には、泥除ゴムを取り付けるものとする。

4 その他の車両装備品は、次のとおりとする。

- (1) オールスピードガバナ
- (2) キャブチルド（電動油圧式）
- (3) バッテリー容量（寒冷地仕様120AH規格内最高グレード以上2個）

- (4) ラジアルタイヤ（ホイール付）最新モデル
- (5) オルタネーター（24V80A以上）
- (6) 電流計、電圧計
- (7) 燃料タンク（軽油60リットル以上）
- (8) HID ヘッドランプ
- (9) ハロゲン式フォグランプ
- (10) パワーウィンドウ(全席)

5 車両の付属品は、次のとおりとする。

- | | |
|--|------|
| (1) 予備タイヤ(ラジアルタイヤアルミホイール付) | 1 本 |
| (2) 予備ヒューズ | 1 式 |
| (3) タイヤチェーン（バンド付／シングル） | 2 組 |
| (4) スタッドレスタイヤ（ホイール付） | 1 台分 |
| (5) シートカバー（ビニール製 0.5mm 以上） | 1 式 |
| (6) サンバイザー及びサイドバイザー | 1 式 |
| (7) オイルパンヒーターコード
（10m／キャップ、メタルコンセント付） | 1 式 |
| (8) 標準工具（工具箱付） | 1 式 |
| (9) フロアマット（ゴム製） | 1 式 |
| (10) ウインターブレード | 1 式 |
| (11) 補助ミラー（運転席、助手席共） | 1 式 |
| (12) 三角停止版(緊急停車板) | 1 個 |

6 ポンプ及び配管は、次のとおりとする。

- (1) ポンプは二段バランスタービンで、規格放水 0.85Mpa で毎分 2 m³以上(A-2 級以上)の性能とする。また、ポンプは可能な限り車両下部及び前部に位置させ、ポンプ上部における積載ボックス等のスペースを十分確保するものとする。
- (2) ポンプの駆動は、乗降に支障なく堅固で、関係の各装置は主要部毎容易に分解、取り外しができる構造とする。
- (3) 吸水口はポンプ部両側とし、75mmボールコック（ストレーナー付）各 1 個を設け、吸管ダブルエルボ（ヨネ製スーパースイングモデル）を取り付けるものとする（連続呼水装置付）。
- (4) 吐水口は、ポンプ部両側とし、口径 65mmボールコック付吐水口を各 2 個設け先端に吐水口媒介金具の差込式オス(AC)を取り付けるものとする。また、吐水口のうち両側各 1 個は口径 50mm兼用のマルチ型(AC)スイベル媒介とする。
- (5) 中継口はポンプ部両側とし、65mmボールコック付中継口を各 1 個設け、差

込式メス（ＡＣ）を取り付けるものとする。

- (6) 真空ポンプは、無給油式で焼付け及び発熱等の無い構造で大気圧の８４％に達するまでに要する時間が３０秒以内であり、操作盤でポンプ部両側に連動式のもの設けるものとする。
- (7) ポンプ圧力計及び連成計（０点中央型）をポンプ部両側に各１個設けるものとする。
- (8) 不凍液注入装置を、車両片側の注入に便利な位置に取り付けること。
- (9) 積算流量計（電子流量計ポンプへの補給口及びバルブ）を取り付けるものとする。なお、装置内部に水が浸入しない構造とする。また、積算流量計は、車両右側に設け、左右の流量計の合計（消防ポンプの放水量の合計値）を表示するものとする。

7 小型水槽は、次のとおりとする。

- (1) 水槽の容量は、６００リットル以上とし、樹脂製等で軽量化を図り、１５年以上補修、修理等を必要としない堅牢で耐久性のあるものとする。
- (2) 水槽は、振動、衝撃等により損傷、緩み等を生じないように車台に固定して設けられ、水圧に対して変形及び水漏れのない構造とし、水槽内面は適切な防食加工を施し、水槽内部には有効に防波板を設けるものとする。
- (3) 水槽内部は清掃等に便利な構造のマンホールを取り付けるものとする。
- (4) 水槽にはオーバーフローパイプ、補給口、管型水量計(浮子付)及びデジタル水量計（電気式）を設けるものとする。また、オーバーフローパイプは、タンク上部に立ち上がり、容易に水が溢れ出ないものとし、管型水量計の材質は内外部からの、衝撃等に耐え得るものとする。
- (5) 水槽は、ポンプによる自己補給が可能であり、ポンプへの補給口及びバルブ付排水口が設けられ、配管には緩衝装置が施してあるものとする。
- (6) 冬期間における水槽及び配管内部の凍結防止のための電気式ヒーターを取り付けオイルパンヒーター等と同時に作動するよう配線するものとする。
- (7) 水槽への外部からの補給口はポンプ部両側とし、口径６５mm差込式メス金具（ＡＣ）を取り付けるものとする。また、タンクの補給口と水配管に逆止弁を設けるものとする。

第３ 各種装置等は、次のとおりとする。

- 1 艀装については、堅牢で耐久性のある構造で、材料は、全て日本工業規格に基づき耐久性に富み、災害対応特殊消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型の規格に示す強度以上のものとする。
- 2 キャブ（ハイルーフ仕様）の艀装については、次のとおりとする。

- (1) キャブ側板には、十分な強度を有する手すりを設けるものとする。
- (2) 後部座席前方に安全で強固な手すり棒（φ 30 mm以上）を設け、手すり棒に A 3 版の書類箱（スチール製）を 2 個取り付けるとする。
- (3) 後部席への乗車用ステップは、他の装置の支障とならない範囲まで大きくし、十分な強度を有するアルミ縞板張りとする。
- (4) 助手席は、空気呼吸器取付け装置一体型シートとし、ホルダーへの着脱や空気呼吸器のバルブ開放等を容易にでき、さらに最大限の座席前スペースを確保できる構造とすること。また、後部座席の後方に、スペースを確保し、軽量 8 型及び 6.8 型ボンベ付きの空気呼吸器、面体レギュレータを取り付けるクイックホルダーを 3 式設けること。

後部座席背もたれはシートからの高さを 500 mm 以上確保し、可動型のレール式（上下落とし込み式）で空気呼吸器が容易に取り出せる構造とする。

なお、取付け装置の右側には呼吸器用の面体を掛けるフックを設けるものとする。

- (5) 後部座席の下部は構造上支障のない限り、資機材収納箱を設けるものとする。
- (6) キャブ内天井部分はビス等が露出しない構造とする。また室内の照明については、書類等を見るに十分な LED スポットライト(3 個)及び LED 室内灯とし、運転に支障のないよう反射保護枠付きを取り付けるものとする。
- (7) キャブ内天井部分は、取付品等の点検が容易にできる構造とする。
- (8) 各操作装置、計器、スイッチ類等には、プレート及び照明灯を取り付け、更に艤装部分のメインスイッチ、ヒューズボックスを増設し、名称、容量等記入するものとする。
- (9) 全席昇降用ステップの取付位置を下げるとともに、昇降に支障の無いよう、更にワンステップ追加するものとする。
- (10) フロントバンパーは十分な強度を有するアルミ縞板張りとする。
- (11) 全席にシートベルトを取り付けること。
- (12) キャブ内に最新式ドライブレコーダー（車外撮影用）を取りつけること。詳細については、消防本部と協議すること。

3 電装装備品については、次のとおりとする。

- (1) 赤色回転灯は、キャブ屋根前方に、赤色警光灯（大阪サイレン LED 赤色警光灯 WF-ML-VJ1-LF・M 型標識付・モーターサイレン内蔵）又は同等品以上を取り付けるものとする。また、中央の標識灯部分に「〇〇〇〇〇〇」を 1 段書きで記入するものとする。さらに、赤色灯内のスピーカーは電子サイレンと連動し拡声できる構造とする。（文字については、後日本部で指定する）
- (2) 電子サイレンアンプ（大阪サイレン TSK-5102（DC 24V）、Mar

K-10型)を、キャブ内の上部の集中スイッチパネル(助手席側)に取り付けるものとする。また、後部座席においてもマイク操作が出来る様に、後部席中央付近にマイクを取り付けるものとする。

- (3) スイッチ類及び電装品等は、できるだけキャブ内のオーバーヘッド部分に収納するものとする。また、電装品等のスイッチは独立したスイッチボックス(大阪サイレンS B W-100)に収納するものとする。
- (4) キャブ屋根上部への各電装品の取り付けは、十分な補強をし、確実に取り付け、防水処置を施し配線出し用パイプを通じて配線するものとする。
- (5) キャブ前面(キャブチルド時に障害にならない位置)及び車両後部にはL E D赤色灯(ウィレン社製L E D点滅灯)を専用のリレーを介して前後各2個取り付け、車両左右側面上部に作業灯(ウィレン社製L E D灯)を左右各2個取り付け、フロントバンパーには、ハロゲン式フォグランプを2個取り付けるものとする。
- (6) 車両全般の電気回路は、車両及び機装のメインスイッチを切った場合、時計その他始動時に支障のある部分を除き全て遮断する構造とする。なお、メインスイッチを入れた場合に無線機の電源が入るものとする。また、メインスイッチは緊急時に誤りのないよう、オンオフ確認ランプを取り付け、出来る限りスイッチボックスの周辺に設けるものとする。
- (7) 各ボックス等(バッテリーボックス除く。)には、収納物により損傷しないよう構造で照明灯(L E D、メインスイッチ/ドアスイッチ付)を設けるものとする。
- (8) A C 100 V の電源により、シャシー積載のバッテリーに自動的に充電する装置を取り付けるものとする。
- (9) 無線機及びA V Mは、現ポンプ消防車から載せかえること。

4 車両機装全般は、次のとおりとする。

- (1) ボデー左右に、器具収納箱を設ける。(アルミ製シャッター)
- (2) 内部収納庫は、空気呼吸器予備ボンベ3本、照明装置、発電機等を、収納できる構造とする。また、収容物が容易に移動しないよう必要により適宜、仕切り板又は、固定バンド等を設けること。なお、雨にさらされないようにシャッター密閉構造とし、内部にL E D照明を設けること。
- (3) ホースカーの収納は、電動又は油圧で自動昇降する構造とする。トラブルにより自動収納できないときには、手動操作が可能な構造とする。また、ホースカー操作用作業灯(L E D/保護枠付)を車両後部に設けるものとする。なお、この作業灯のスイッチは車両後部の操作しやすい位置に保護枠付で設置するものとする。
- (4) 消防章(署150mm、架台付)を車両前面中央部に取り付けるものとする。

- (5) ポンプ室側板は、密閉型とし、点検、手入れの必要な部分は十分なスペースを取り、点検口等整備が容易な構造とする。
- (6) 各部に取り付ける縞板は、車体上部ステップについてはアルミ縞板張りとし、吸管積載装置、各ステップ、サイドエプロン、フェンダー、に足掛け等全て外傷の恐れのある部分についてはアルミ製とするか、ステンレスの保護板を貼るものとする。ただし、足掛け等に十分な強度のない箇所は除くものとする。
- (7) ポンプ室両側面は、アルミ製手動シャッター式とする。
- (8) ポンプ室下部両側に、速消ホースボックス（ホース2本以上収納可能／樹脂製スノコ板敷）を設置するものとする。扉は下開き式とする。（扉ロック機能付き）
- (9) 各ボックスのスペースは可能な限り大きくとるものとする。また、各ボックス及び扉は堅牢な構造とし、合わせ目にはゴム等を貼り、防水措置を充分に行い、把手金具は機能確実なものとする。
- (10) バッテリー（12V－120AH規格内最高グレード2式寒冷地用）は、独立したボックス内に引出式構造で容易に点検できる位置に取り付け、密閉容器で泥等が入らない構造とする。また、車両バッテリー自動充電装置を収納庫内に取り付けるものとする。
- (11) 各ボックスは密閉構造とし、内径15mm程度の水抜用パイプを設ける。また、床等で水の滞留する恐れのある所には適当な大きさの水抜き穴を設けるものとする。
- (12) 揚水、吸水確認灯を車両両側計器盤付近に各1個取り付けるものとする。
- (13) 給油口は、積載品を移動させることなく、安全容易に給油できるよう設けるものとする。
- (14) キャブ屋根（立上げ5cm以上）及び車両上部は可能な限りアルミ縞板張りとする。なお車両側板は、キャブと同等の高さまで延長するものとする。
- (15) 車両上部への昇降用ステップを両側及び後部に適切かつ合理的に設け、支障の無い限り大きな固定型を設けるものとする。
- (16) 車両上部にアルミ縞鋼板製の資機材収納庫を可能な限り大きいものを1つ装備するものとする。
- (17) キャブルーフ、車両上部、各ステップ及びボックス上面等は、可能な限りアルミ縞板とする。ただし、昇降用ステップとして使用するに十分な強度を有する箇所に限る。また、フロントバンパー上部、キャブ前面整備時の足場及び、フロントガラス上部にフックを2か所取り付け、アルミ縞板等を張り付けする。
- (18) 車体両側に外部接続用防水メタルコンセント（キャップ付）を各1個設けるものとする。（24V）
- (19) 車両後方には、旗立て装置（旗竿付）を取り付けるものとする。
- (20) 装備品及び付属品（別紙）は、安全確実に積載でき、かつ容易に取り出しが

できる堅固な装置を備えているものとする。

- (21) 車両上部に、65mm、50mm×20m各ホースを二重巻きの状態で各4本積載するための場所を設け、車両上部の外枠には、ホース、鳶口、長物等が収納するボックスを取り付けすること。また、車両上部には、2本転落防止及び脱落防止の手摺りを設けること。
- (22) 積載梯子はチタン製三連梯子(関東梯子／8.8m、重量33kg以下、鑑定品)を取り付けるものとする。
- (23) はしご取り付け装置はバランスダンパー昇降装置とすること。
- (24) はしご昇降装置には、ロック機構等の安全装置を取り付けること。
- (25) 作動スイッチは、車両後方に取り付けキャビン内に作動確認灯を設けること。
- (26) 車体に消火器を取り付けること(取り付け位置は、後日本部で指定する。)

第4 塗装関係は、次のとおりとする。

塗装全般

- (1) 塗装は、完全な防錆加工を施した後、プライマー、パテ、水研ぎ、サーフェーサーを行い熱風乾燥炉で充分乾燥し、ウレタン塗装、又はそれと同等以上の上質塗装(朱色)を3回以上吹き付け、仕上げるものとする。特にアルミ製縞板に塗装する場合は、容易に剥離しない施工をすること。
- (2) 文字記入は、次のとおりとする。

キャブ両側ドアに、丸ゴシック体で左横書きで白色テープを一字12cm角以上で「酒田地区広域消防」と貼り付けるものとする。

また、ポンプ室両側及び車両前後の指定位置に「21」と、丸ゴシック体テープで貼り付けるものとする。(サイズ及び色については、後日本部で指定する。)
- (3) 外装品の金具等は、硬質クロームメッキ仕上げとする。ただし、ステンレス及びアルミ製品を除く。
- (4) 防錆対策として、ボディー外板等に使用するボルト、ナット及び蝶番はステンレス製とする。また、アルミ縞板等を直接骨材、外板等に取り付ける場合は、水の浸入を防ぐため、シール材等による防錆処理を行ってから取り付けるものとする。また、ドアの内側、ボックス、フェンダー、シャシー及びポンプ機関部などは、塩害等及び泡薬液により腐食の恐れのある部分には防錆処理を十分に行うものとする。
- (5) 電子防錆装置「ラストアレスター」24V用(DCコンバーター付)を取り付けるものとする。
- (6) 下地赤色で文字白色の対空表示「酒田 P」を丸ゴシック体二段書きで指定位置に記入するものとする。

第5 無線機は、次のとおりとする。

1 無線機は、現車両から取り外し新車両に取り付けるものとする。

2 取付調整

- (1) 取り付けに関しては精密機械としての安全の確保に努め、その管理に十分留意して行うものとする。
- (2) 取り付けに必要な装置は、人体の接触及び振動等により、外れないよう堅固に固定するものとする。また、取り付けに当たっては、車両等に損害を与えないよう十分に注意するものとする。
- (3) 機器の調整範囲は、仕様項目を満足させるものとし、使用に当たっての不具合等、支障のないものとする。
- (4) キャブ内の上部集中スイッチパネルに無線機（DC・DCコンバーター付）を設け、キャブ屋根上部右側に手動可倒式アンテナを取り付けるものとする。
- (5) 指定位置に無線機外部スピーカー（防水性、朱色塗装、CS-15型）、無線送受信器収納箱をポンプ部両側に設け、無線機までの配管及び配線を行い、送受信器を取り付けるものとする。また、各装置の入切スイッチ及び音量切り替えを指定位置に設けるものとする。
- (6) キャブ内後部座席付近に無線機用の室内補助スピーカー（音量切替付）を取り付けるものとする。なお、後部座席上部両側付近にラジオ用スピーカーがある場合は、補助スピーカーの代わりに切替スイッチを取り付け、ラジオ用スピーカーから無線を傍受できるものとする。

取付品及び取付装置（軽微な変更を含む。）

No	品 名	規 格 、 仕 様	数量
1	ポンプ圧力計	車両側面左右	2 式
2	ポンプ連成計	0 点中央型	2 式
3	エンジン油温計		1 式
4	エンジン回転計		1 式
5	赤色回転灯	大阪サイレン L E D 赤色警光灯 W F - M L - V J 1 - L F ・ M 型標識 付 ・ モーターサイレン内蔵	1 式
6	電子サイレン	大阪サイレン T S K - 5102 V - 1 0 型	1 式
7	バックブザー(内、外部)	ON/OFF スイッチ付き	1 式
8	標識灯	No 5 赤色回転灯と一体	1 式
9	流量計	車両側面左右(電子式)	1 個
10	積算計	車両側面右	1 個
11	キャブチルト装置		1 式
12	オイルパンヒーター	コード 1 0 m キャップ、メタルコンセント付き	1 式
13	不凍液注入装置		1 式
14	スタッドレスタイヤ	ホイール付	6 本
15	後部作業灯	ウィレン社製 L E D 式	2 式
16	車外無線送受話装置	音量調整スイッチ付き 送受話器、スピーカー(C S - 1 5 型) 付き	2 式
17	水槽ヒータ、コックヒータ		1 式

補助基準内附属品（軽微な変更含む。）

No	品 名	規 格 、 仕 様	数量
1	吸管	ライフレックス 75 mm 射線(10 mm 2本)入り／アルミ製 スロッター型 10 m	2 式
2	吸口ストレーナー	プラスチック製	2 個
3	吸管ストレーナー	プラスチック製	2 個
4	吸管ちりよけ籠	プラスチック製	2 個
5	吸管まくら木	プラスチック製	2 個
6	吸管ロープ	直径 10 mm 長さ 10 m	2 組
7	消火栓金具	75 mm メスネジ×65 mm 差込メス／AC	1 個
8	消火栓開閉金具		1 本
9	吸管スパナ		2 本
10	ノズルフォルダー	YONE PEH-50A	1
11	デュアルマチックノズル	YONE NV-50DM	1
12	放口媒介金具	65 mm メスネジ×65 mm、50 mm 込オス／MC スィーベル型／AC	2 個
13	放水口媒介金具	65 mm メスネジ×65 mm 差込オス／スィーベル型／AC	2 個
14	高発泡ノズル (デュアルマチック用)	YONE MX フォームジェット	1
15	低発泡ノズル (デュアルマチック用)	YONE LX フォームジェット	1
16	三連梯子	関東梯子製 チタン製 KHFL-CT-87	1 基
17	とび口	グラスファイバー製 長さ 1.8 m 級	2 本
18	金てこ	長さ 1.2 m 級	1 本
19	スコップ	剣先、角（鉄製）	各 1 丁
20	車輪止め	ゴム製／3 m、ロープ付	4 個
21	消火器	ABC 粉末、20 型／自動車用	1 本
22	ポンプ工具	スチール製工具箱付	1 式
23	65mm 消防ホース	使用圧 1.6 Mpa 軽量型 アルミ合金製／リング式	10 本
24	投光器	軽量二焦点型可搬式投光器 YAMAHA E028 専用三脚、ケーブル 50 m 30 m コードリール付き	1
25	空気呼吸器	ライフゼム型 NM30 CS 面体（拡声装置付） 調整器・面体間の防災保護布付	4 式

		アラーム鳴動圧力 3 M p a	
26	空気呼吸器取付装置	クイックホルダー	3 式
27	助手席空気呼吸器取付装置	シート一体型	1 式
軽微な変更			
1	タイヤチェーン		1 式
2	ホースブリッジ	ゴム製ブリッジ L W T 型	2 個
3	牽引ワイヤー	1 0 m m / 5 m	2 本
4	弁慶（大、小）		各 1 本

補助基準外艀装附属品

1	路肩灯	L E D 式（保護枠付き）	必要数
2	バッテリー自動充電装置	防水型ケーブル	1 式
3	オイルレス真空ポンプ		1
4	電子式水量計		2
5	オールアルミ縞板		1
6	マップボックス		2
7	室内灯	L E D 式（カバー付）	1 式
8	スイッチボックス	大阪サイレン S B W - 1 0 0	1 個
9	赤色フラッシャーランプ	大阪サイレン（リレー回路含む）	1 式
10	L E D 作業灯		4
11	ボックス灯	L E D 式 メイン、ドアスイッチ付	必要数
12	軽量型加納式 ホースカー	6 5 m m ホース 8 本以上積載 / 6 5 m m 、 5 0 m m 管 鎗 立 × 各 1 式 / 6 5 m m 媒介立 1 式付き	1 式
13	ホースカー収納装置		1
14	ホースカー作業灯 L E D		1
15	各シャッター		1 式
16	バッテリーボックス引出式		1 式
17	サイドステップ延長		1 式
18	吸管収納受け		1 式
19	キャブ上部アルミ縞板		1
20	後部昇降用ステップ		1
21	車両上部アルミボックス	アルミ縞鋼板製	1
22	旗立て装置	旗竿付	1 個
23	車両後部ステンレス梯子		2
24	手動梯子昇降装置	バランスダンパー式	1
25	動力付ホースカー昇降装置		1
26	下回り防錆塗装		1 式
27	ラストアレスター		1 式
28	対空文字		1
29	無線装置、A V M、移設		1 式

30	無線機関係取り付け		1 式
31	5 0 m m 消防ホース	使用圧 1 . 6 Mpa 軽量型 AC / リング式	1 0 本
32	ホースバンテージ		1 0 枚
33	ホースバンド	O H - 1 型 (漏水防止バンド兼用型)	1 0 個
34	予備ヒューズ		1 式
35	ウインターブレード		1 式
36	携帯用整備工具		1 式
37	中継ロストレーナー		2 個
38	補修用ペイント	1 0 m L	1 缶
39	スポットライト	L E D 式 運転席を除く	3 . 式
40	計器灯	L E D 式	必要数
41	無線機アンテナ	可倒式/H G B - 1 5 0 - 2 (5 / 8 λ)	1 式
42	消防章	署マーク 1 5 0 m m / 架台付き	1 個
43	揚水、吸水確認灯		必要数
44	フォグランプ		1 式
45	速消ボックス	車両左右 / 樹脂製スノコ付き	2 式
46	中継用媒介金具	6 5 m m メスネジ × 6 5 m m 差込 メス / A C	2 個
47	ドライブレコーダー	自動録画、2 0 0 万画素以上、視野角対 角 1 5 0 度以上、2 . 4 インチ以上液晶	1 式
48	媒介金具	6 5 m m オス差込 × 7 5 m m オスネジ 岩崎製作所 1 6 S K G F 3 P (又は同等品)	1 式
49	低水位ストレーナー	岩崎製作所 1 6 R S 0 1 X X (又は同等品)	1 式
50	ホースバッグ	あーるえす(株) R S - W - 0 2 R S - S - 0 1	各 2
51	媒介金具	6 5 m m メス差込 × 5 0 m m オス差込	1
52	複合ガス測定器	複合ガス測定器 M S A Artair 5 X チューブ 7 . 5 m、フロート、ケース付	1
53	その他標準装備品		1 式

※ 各仕様は同等品以上とする。

※ 前記の物品は、各種技術の規格を定める省令等の適合品とし*印は車両への取付